



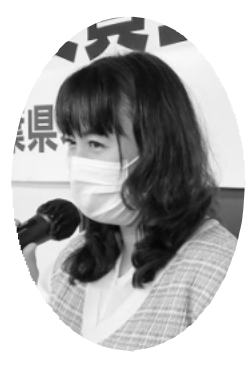
第579号 発行:自治労連千葉県本部 千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内 TEL 043-227-9393 FAX 043-227-6060 メールとホームページURLは題字の中↑ 責任者・竹内 敏昭 編集長・實川 理

松戸市保育所職員労働組合

定年引上げ職場アンケート実施

安心して働き続けられる職場に

松戸市保育所職員労働組合では、定年引き上げについてアンケートを行い、保育士を中心に207人から回答を得ました。多くの人が60歳以降の働き方に不安を持っていることが浮き彫りになりました。



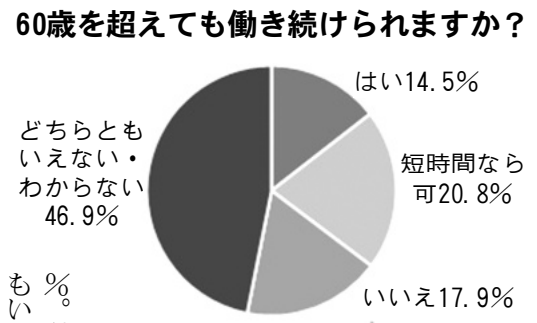
県本部中央委員会で発言する松戸市保育所職員労働組合の田嶋委員長

アンケート 定年延長について 2021年11月 松戸市保育所職員労働組合

配布したアンケート用紙

安の声を受けて、組合は定年引き上げに対する職員の意識調査「今年あなたに聞きたい 定年延長について」のアンケート」を昨年11月から12月にかけて実施し、207人から回答を得ました。

質問は、①60歳を過ぎても働き続けられるか(選択肢+理由記述)、②給料が7割に下がることをどう思うか(選択肢+理由記述)、③定年引上げの不安(選択肢)、④定年引上げで政府に要求したいこと(選択肢)、⑤意見など(自由記述)です。



県本部中央委員会

夏季闘争方針を議論 5月14日、第107回県本部中央委員会が開かれ21単組57人(リアル37人、Web20人)が参加しました。討論では14人が発言しました。執行部からの報告では、会計年度任用職員の期末手当引き下げ幅圧縮、ケア労働者の賃上げ実現、人員増、単組課題の前進など、春闘の成果と組合の存在意義を確認しました。運動方針では、激動する情勢を踏まえ、職場学習を重ね、県本部重点要求を軸に要求書提出と交渉を進めていくことなどの夏季闘争方針が提起されました。(2面に関連記事)

- 「新型コロナ」対応の改善に全力をつくす
■夏季休暇、定年引上げ、公務員賃金改善など前進を目指す
■行政のデジタル化などの課題について自治研活動を進める
■改憲反対、気候危機対策の強化など、国民的運動を進める
■組合員拡大、共済の継続、次世代育成に全力をあげる

定年引上げ学習会 (中央委員会内)

講師:嶋林弘一・自治労連賃金権利局長

7割に下がる賃金

年金の支給開始年齢に合わせて雇用と年金の接続をはかるため、来年の4月から、2年に1歳ずつ定年を引上げ、65歳定年とする定年引上げが予定されています。



嶋林弘一さん

今後の組合交渉では、定年退職者が2年に1度しか出ないため新規採用を継続的に行わなければならないことが課題の一つです。

また、自治体の職員定数管理については、実態に合わせた定数設定・換算へと改善させ

今後、60歳前後の給与水準を連続的に見直しが必要とされています。人事評価の結果の反映強化、全体の賃金水準引下げの可能性があらま

今、就労しており、60歳以降も働く意欲を持つ職員は、貴重な存在です。経験ある職員が活躍できる環境をつ

共感広がる報告書 アンケートの報告書では、同じ趣旨の記述回答を省略せずに、そのまま掲載していま

で、緊急な対策は、法律の改正で対応すべきではないか。よ

体力的にきつい 浮かび上がる過酷さ 質問「60歳を超えても働き続けられますか?」に、「はい」と答えたのはたった14.5%

「身体的精神的に現 浮び上がります。 実際には働け続けられ

確保・保育の質向上の 点からも重要です。 保育労組の田嶋委員

▼くしくも、数十年に一度の惨事の新型 コロナやロシアのウ



総務省「地方公務員法の一部を改正する法律について」資料

横断歩道

数年前からデジタル・ニューティールやスーパーシティなどカチカチ語を使っ た制度の変更が多く行われている。ほとん